

100人の中の一人のために

このメールマガジンでワンポイントアドバイスの的なものを書き始めて8年近くになります。何かお役にたてる内容・情報をといつも考えたり情報収集をしたりし、それを自分のネタ帳に書き溜めています。

今回はその中から、「**100人の中の一人のために**」を紹介します。誰の本だったか？誰の言葉だったか名前を書いていないのでわかりません。受け売りではありますが、皆様の参考になればと思って私なりの所感を加えて紹介します。

私はメーカーの電気設備営業から、縁あってこの高齢者・介護業界の仕事に就いて25年が過ぎました。この業界関連のさまざまなことを経験、体験してきたことを、経営幹部や介護職員、業界の方々、更に私と同年代以上のシニア世代の方々に向けて、研修やセミナーでお話をしています。数人から数百人規模まで様々です。

決して話が上手い方ではありませんが、パワーポイントを使い、できるだけ文字だけでなく図・イラスト等で表現し、目からも耳からも入るように分かり易くお伝えしようと心掛けています。しかし終わった後で、このことはもう少し深掘すれば、もう少し表現を工夫したらと、いつも反省をしながら頑張っています。

この「100人の中の一人のために」の中で、「**できることは自分の最高のパフォーマンスを発揮することのみ**」とあります。その言葉を大切に、それなりに良かったり、悪かったりという時もあり、なかなか「最高のパフォーマンス」の域に達しませんが、今後もやり続けていこうと思っています。

また「**ずっとこの姿勢を続けて仕事をしていると『100人中の真剣に聴いてくださっている方』が次の縁をもたらしてくれます**」とあります。

確かに、このようなことは沢山経験をしてきています。研修や講演が終わって参加者の方が挨拶、名刺交換に来られ、御会社や機関にお訪ねしお付き合いが始まり、この縁でお仕事の依頼をいただくことが多々あり今日まで続いています。

更にもう一つ印象に残っているのは「人は理屈だけでは動かない。相手の情熱、熱意、誠意、一心不乱な姿に心を動かされ、その人を応援し支持する気持ちになる」「1%でも手を抜くとだめ！常に全力全霊で情熱、熱意、誠意、一心不乱に己の仕事に没頭しましょう！そうするときっとあなたを応援してくれる人がいます」という言葉です。

このことはどんな仕事においても云えると思います。運、不運はあるかと思いますが、ちょっと何かで行き詰ったとき、この言葉を思い出し、気持ちを新たに頑張っていくのも良いのではないのでしょうか。
ご参考になさってください。



C Sねっと企画合同会社
代表 長嶺 堅二郎



2025年9月10日